



2015～2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

会長/小野喜明 幹事/度会尚志 会報委員会/廣田 篤・中村嘉輝 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心
 30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう
 30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第3回 通算1395回 平成27年7月21日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/7 修正出席率
		60名	36名	64.3%	90.6%

ゲスト：市内5高校の生徒25名、教諭5名 ビジター：吉川庄三さん(豊川RC)

★会長あいさつ

小野喜明会長



今日はボランティア活動について少し考えてみたいと思います。

日本では奉仕活動という言葉で、無償の地域や人のために奉仕をすることボランティア活動と言います。もともと語源は志願兵ということで西洋の騎士団やキリスト教から出ている十字軍などに参加をすることを言ったようです。

日本においては昔から五人組、町内会や自治会、消防団など地縁による慣習があったため、それ以外の方が地域で活動することは少なかったと言います。ボランティアの意識が一般の人たちに強く芽生えだしたのは、20年前1995年1月におきた阪神淡路大震災の時のボランティア活動からでした。それ以降、災害が発生するたびにボランティアの人たちの支援が大きく取り上げられ、地域への成果と参加をする人たちの社会参加の素晴らしさを再認識することになります。

そして、東日本大震災が2011年3月11日に発生、日本全国の方が何らかの形で復興支援にボランティアで参加しました。その素晴らしさは被災者の方々の落ち着いた行動とともに海外メディアの賞賛を得ました。

私は個人的には青年会議所活動を通じてボランティアを学び、地域への参加を心掛けてきました。豊川市が平成15年度にボランティア活動のガイドライン(市民協働基本方針)を作った当時は町内会や自治会はボランティアではないと考えていました。市民団体をつくった活動をボランティアという狭い見方をしていました。社会福祉協議会、文化協会や体育協会、国際交流協会なども市の外郭団体程度にとらえられていました。学校における課外活動も授業のひとつと考えられていました。

現在では、そのようなこともなく市民が活動することを尊敬をもってみるようになりました。そしてご存じのとおりB1グランプリでは多くのボランティアが参加し、中学生高校生から企業ボランティア、個人ボランティアまで幅広く参加されました。豊川市民は素晴らしいという評価を得ました。しかし、私から見た時にB1グランプリから市民ボランティアが多くなったわけではなく、すでに20年30年前から地域に尽くすという考えが多くあったと思います。豊川市はもともとの地元の方々と海軍工廠で働いた方、戦後全国から移動してきた方々が、助け合い仲よく共存してゆく地域性があったと思います。

現在ではスポーツイベント開催や、お祭り、老人施設への訪問、公園の手入れ、学校でのボランティアなど、要望と頻度に合わせた身の丈のボランティアがこのような素晴らしい地域性を高校生のみなさんにも理解をさせていただき、社会へ奉仕することの尊さ、助け合うことの人間らしさ、感動をさせていただきたいと思います。さらに言えば、自ら手をあげて、

社会の困難や不都合に立ち向かってゆく勇氣を持っていただくことが若さの特権だと思います。どうぞ本日は宜しく願い申し上げます。

★幹事報告

度会尚志幹事

例会臨時変更のお知らせ
台湾台中松竹 RC 会報の回覧
日韓親善会議開催について

★委員会報告

雑誌広報委員会（笠原委員長）
ロータリーの友 7月号の紹介

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

大場篤委員長



こんにちは。
本日の例会は青少年奉仕委員会
が担当させて頂きます。ボラン
・コラボ・穂
の国 7 は、平成

19年4月に設立されており、今年8年目に入っています。地元豊川市内の高校のボランティア活動の情報交換の場であり、年に2回交流会を行っています。名前の由来の「7」は、市内の高校6校とボランティアの相手方の1を足して「7」になっています。短い時間ではありますが、高校生の皆さんの発表を聞きながら、情報交換をして頂ければと思います。よろしく申し上げます。

支援金の贈呈

各学校に活動支援金として2万円ずつ、会長から手渡されました。

豊川高校の活動報告



こんにちは。
今から平成 27
年度豊川高校生
徒会活動計画を
発表します。

6月20日に初夏の集いが行われました。その

中の生徒講座で沖縄スタディーツアーの報告会と同朋高校の宮城先生による太平洋戦争に

ついでに平和講演会が行われました。沖縄スタディーツアーの報告会では、ツアーの概略やツアーに参加した方々の感想などを聞きました。沖縄軍事基地移設の問題や実際にガマに入ってみた感想、現地の人に沖縄の歴史についてお話を聞いた感想など、さまざまなことを語ってくれました。宮城先生による平和講演会では、元日本軍兵士から聞いた「肉弾攻撃」を中心にお話されました。「肉弾攻撃」とは、爆弾を身につけて敵に向かう自爆行為のことです。そのような事が普通に起こる戦争は二度と繰り返してはならないとおっしゃっていました。また、戦争の事について語れる人が年々減っている。よって戦争の真実を積極的に知り、友人同士で広めてほしいと訴えてしました。今回の初夏の集いを通して、戦争と平和の尊さについて考えてくれる人が一人でも多く増えていたらうれしいです。

7月18日、19日、20日に行われたサマーセミナーに多くの生徒が参加しました。学校では学ぶことのできないことをたくさん学び、学ぶことの楽しさを知ることが出来ました。僕は、名古屋空襲の講座を受けて、実際に体験した方の話を聞いて、とても悲惨な状況だったことが分かりました。これを機に様々なことを学ぶ人が増えてくれたらうれしいです。

10月3日、4日には学園祭が開催されます。テーマは「戦後70年～学んだ知識、つながる意識～」です。学園祭の目玉である本部企画では、豊川海軍工廠と長崎をとりあげます。学園祭を通して、戦争に関心を持ち、自ら考えるきっかけを与えられるような学園祭にしたいです。私たちが学園祭執行部として、来てよかったと思えるような学園祭にしていきます。ぜひお越し下さい。

豊川工業高校の活動報告



豊川工業高校 HSV ボランティア部の活動報告と活動計画を報告します。私たちボランティア部は、1年

生12人、2年生4人、3年生7人の23人で活動しています。

最初にビーチコーミングに行きました。マリナーで使う貝やガラスを拾いました。

マリンアートは、12月に行うマリンアート・キャンドルナイトで使う作品です。八南小学校の子ども達に作ってもらっています。綺麗な貝やガラスを使うので、拾った貝を学校で洗い、汚れを落としました。

豊川おいでん祭に行きました。おいでん祭では、使わなくなった衣類を集め、汚れや穴があいてないかを丁寧に調べて、たたんで、夏服と冬服に仕分けして段ボール箱に詰めました。一緒に活動をしていた地域の人とも仲良くなる事ができ、休憩中にクッキーや飴をもらうなどの交流をしました。100箱以上の段ボール箱の服をたたみました。段ボール箱に詰められた服は、全て海外の貧しい国の人々に送りました。

5月最後の週に、善意フェスティバルに行きました。私たちは、子ども達と一緒に、地域の人や学校のボランティアで来ている人たちが開いている簡単なゲームを体験したり、バスケットチームの浜松・東三河フェニックスの選手のサインをもらいながら、楽しく子ども達と遊びました。子ども達の笑顔を見て、また参加しようと思いました。

6月7日に豊川リレーマラソンに行きました。ここでは、グループに分かれて仕事をしました。記録係やゴールテープ係などをおこなないました。タスキを回収する時に、出場された方にありがとうと言ってもらえて嬉しかったです。

6月14日に献血ボランティアに行きました。献血会場に来た子ども達にレインボールームでブレスレットの作り方を教えました。来てくれた子ども達は、楽しんで作っていて、献血をしてくれた保護者も増えたような気がしました。部員も少し献血をしました。

6月20日に行われた子どもものづくり教室に高校生ボランティアとして参加をしました。子どもものづくり教室は、小学校高学年を対象に、月に1度プリオで行われる工作教室です。ものづくりを手伝いながら、子ども達と交流し、完成した作品で遊ぶ子ども達の笑顔を見て、とても嬉しい気持ちになりました。

今後の活動は、小学校訪問や24時間テレビ募金活動、メインイベントのマリンアート・キャンドルナイトがあります。マリンアート・キャンドルナイトとは、12月に豊川総合体育館前の広場で行うイベントです。約2,000個のキャンドルナイトを使って文字を描きます。今年の文字は「結」です。

宝陵高校の活動報告



平成27年度宝陵高校ボランティア活動計画を報告します。

福祉施設では、夏祭りで入所者の人の車椅子移動や模擬店の手

伝いをします。福祉施設でのボランティアは、夏休み期間を利用し多くの生徒が参加予定です。これからも秋祭りやクリスマス会などのボランティアに参加する予定です。

豊川市と豊橋市の3大マラソン大会では、給水係や救護スタッフとして毎年参加をしています。病院実習や学校で習った知識を活かす場となっています。豊川リレーマラソンのボランティアに40名ちかく参加をしました。

豊橋市の歩行者天国では、イベントスタッフとして活動をしました。

8月までに延べ170名の生徒がボランティア活動の参加を予定しています。ボランティアに参加するのは、とても楽しく、ためになると参加するたびに感じます。

去年に続き、今年も少しでも多くの生徒にボランティア活動に参加してもらうために、ボランティア活動に対する呼びかけとして、継続して適正マップを掲示しています。このマップは、NHKのEテレの大人への扉という番組で取り上げられたものです。このマップをボランティア掲示板に掲示しています。ボランティアの入口にしてもらえたらと思っています。皆さんは、どれに当てはまりましたか？番組ホームページにもアップされています。参考にして下さい。

本校のボランティア活動にどう参加をしたら良いのか紹介します。気軽さが大切です。
①ホームルームや2棟1階昇降口にあるボランティア掲示板の募集を見ます。
②申し込みの日時に集合します。
③担当の先生に承諾書を提出。注意事項や心得を聞き、これで申し込みは完了。
④先生がボランティア先と連絡を取り申し込んでくれます。
⑤ボランティア活動を実践するには、責任が伴います。ボランティアの心得を十分に理解し、さあ出発です。
⑥当日、豊橋歩行者天国のボランティアでイベントスタッフをします。
⑦翌日、校内で担当の先生を見かけたら、「先生、ボランテ

ィア行ってきました」と報告します。

本校のボランティア活動に参加すると特典があります。3年間で10回以上参加すると、ボランティア功労者として表彰されます。まだまだボランティア活動は、始まったばかりですが、ボランティア体験のある私たちが、友だちや後輩にボランティアの楽しさや達成感を伝えて行こうと思います。

今年のボランティアの結果を3月の交流会でお知らせ出来るように頑張りたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

国府高校の活動報告



国府高校生徒会の活動について報告します。前期生徒会執行部は、5月頃から活動を始め、10月頃に後期生徒会執行部に

引き継ぐまで学校行事としては、クラスマッチ、文化祭、体育大会などがあります。

ボランティア活動も行っています。今年は生徒会からの提案でネパール大地震の募金を行いました。ネパールは、日本が東日本大震災に見舞われた時に、真っ先に助けてくれた国の一つです。なので、少しでも力になりたいという思いから募金をしました。新生徒会となってから初めての活動だったので、大変なこともありましたが、保護者の方の協力もあって75,008円が集まりました。

5月の中間テスト最終日には、ゆうあいの里ふれあいセンターでのボランティア活動を行いました。雨が降らない限り毎年行われているものです。今年は、天候にも恵まれたため無事に行うことが出来ました。駐車場周りの草取り、花壇の花の植替えなどをさせていただきました。テスト最終日だったため、参加者が集まらないのではと心配をしましたが、学年の枠を超えて20名の参加者が集まりました。利用者の方や施設の方にも喜んで頂けたのではないかと思います。僕も普段は学校の掃除の時間くらいしか草を取ったりしないのですが、今回の活動は、とても楽しみながら行う事が出来ました。

6月には、豊川リレーマラソンの運営をお手伝いするボランティア活動に参加しました。本校から参加した生徒は、コースの安全管理

や選手への給水、記録、集計のお手伝いや会場の清掃などを行いました。リレーマラソンには、とても多くの人に参加しており、近くで見ていると、これぞ街おこしといったような活気に満ち溢れていました。6月とはいえ、とても暑い日でしたが、誰も熱中症や体調不良になることもなく、無事に終えることが出来ました。

夏休み中に行われる豊橋東ロータリークラブ主催の気仙沼の復興ボランティアに参加する人もいます。生徒会執行部からも2名が参加します。めったにない体験なので、この機会を大切にして沢山学んでいきたいと思っています。

夏休みがあげると、すぐに文化祭、体育大会があるので、現在はその準備をしています。今年のテーマは「Connect」です。このテーマには、生徒と生徒はもちろん、他クラス、他学年、先生方も含め、全員繋がりがあってこそ国府高校だという思いが込められています。

後期生徒会執行部では、赤い羽根共同募金と学校周辺の清掃ボランティアを予定しています。生徒会としてのボランティアは、これぐらいですが、定期的に学校周辺の美化活動行う野球部やボランティアに取り組む生徒の姿を写真に納める写真部など、部活毎での積極的な活動も多くみられます。生徒会活動としてだけではないボランティアの輪が広がっています。

国府高校は、もうすぐ100周年を迎えます。中継地点の今、けっして気を抜くことなく、これからも地域に愛され続ける国府高校を目指して頑張りたいと思います。

小坂井高校の活動報告



小坂井高校生徒会の平成27年度のボランティア活動についてお話をします。私たち生徒会は6名で活動をしています。本校

にはボランティア部のような組織はなく、ボランティア行事ごとに生徒会執行部の呼びかけで参加者を募って活動をしています。

5月31日の善意フェスティバル2015へ参加をしました。このイベントは、豊橋善意銀行主催のもので、東三河の高校や福祉団体、

企業の出展の方々が豊橋総合動植物園に集まり、障害のある人や地域の子供達と遊びを通じてふれあったり、一緒に園内を散歩したりすることで、障害についての理解を深めました。私たちは、マスキングテープを使って、ノートやペンケースをコラージュしました。日差しが強い中、たくさんの人が来てくれました。作品が出来上がると満足した顔で、「ありがとう」と御礼を言われた時は、とても嬉しかったです。善意フェスティバルを通して、私は別の世界の事のような印象を抱いていた障害というもの、もっと身近にあることを知り、健常者と障害を持っている人々がもっと社会的に歩み寄れたら良いと思いました。

8月に海軍工廠被ばく70周年事業のボランティアを計画しています。これは豊川市全体で行われるもので、70年前の8月7日に何が起こったのかを再現します。僕たちは受付として参加をしますが、70周年と言う節目の年において、戦争の恐ろしさを忘れないため、そしてより多くの人に惨状を伝えるために、活動に励みたいと思います。

11月には赤い羽根共同募金活動があります。生徒会執行部を中心に全校生徒と教員に協力を求め、集まった金額を集計したのち、愛知県共同募金会に寄贈します。昨年度は5万円が集まりました。今年度は一人100円を目標にしていきたいと思います。今年度も多くの生徒や教員の善意が集まると考えています。その想いが遠くで待っている誰かの役に立つことを祈るばかりです。

12月には、地域一体の掃除、クリーン大作戦があります。この行事には、毎年500人以上の生徒が小坂井駅や豊川放水路、国道151号線付近で一斉にゴミを集めます。地域で日頃お世話になっている方々や通学路に感謝の気持ちを込め、ゴミを集めることはもちろん、資源分別も徹底的に行い、地域におけるボランティアの身近さを全員が知っていきます。このような活動をする事は、ボランティアに対する意識を再確認し、人との関わりや自分にとって大切な事を学べる良い機会だと思います。このような機会があることを一人でも多くの人に知ってもらえるように、そして本校のボランティア活動の充実のために、尽力して行こうと思います。ご清聴ありがとうございました。

★交流会開催

例会終了後に“ボラン・コラボ・穂の国7”の交流会が行われました。テーマにそって、グループでテーブルディスカッションが行われました。



テーマ

「見つけよう 自分にあったボランティア」

各テーブルから出た意見

- ボランティアに参加することが大切
- 参加するには勇気が必要です。
- ボランティアに参加するには、人とのコミュニケーションが大切である
- 他の学校の情報を聞いて、自分の学校にあった活動をする
- 苦手な事でも取り組めば、自分に合うかもしれない
- たくさんのボランティアをしてみる、それを将来の自分の糧にする
- 高校生だから出来るボランティアをすることが良い



★ニコニコボックス

吉川庄三さん メーキャップさせて頂き
岩瀬靖宏会員 誕生日を祝って頂き

会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員